

場 所：すずはら幼稚園

日 時：平成30年6月22日（金）14時00分～15時30分

参加者：12名（就学前児童保護者8名、その他4名）

質疑等：

質問1 南部こども園について、4歳児の応募者数が30人以下であった場合、4歳児を1学級とし、3歳児を2学級とすることができるのか。

回答1 現段階の園児募集の見込みといたしましては、4歳児・5歳児の応募者数がそれぞれ30人以下となるということは考えにくいと想定しております。3歳児の定員につきましては、ニーズ調査の結果や就園者数の動向を見ながら、保有教室数の範囲で対応していくものと考えております。

質問2 南部こども園の予定教室数が8教室なのであれば、もし8教室で収まらないほどの応募者数があれば、抽選になるということか。

回答2 応募者数が、過度に南部こども園に集中した場合は、抽選となる場合があります。ただし、定員につきましては、Aブロック内で受け入れることができるという見込みです。

質問3 幼児教育の充実ということで、転入促進を行っているが、幼稚園のこの定員で転入者を受け入れることができない状況になったらどうするのか。

回答3 転入される方の中には幼稚園を選択される方もいるかとは思いますが、多くの方は保育所ニーズではないかと思っております。そのあたりのニーズにつきましては、今後行う予定にしておりますニーズ調査にて検証していきます。

質問4 Aブロックにある幼稚園の3歳児の定員50名の内訳はどうなっているのか。

回答4 伊丹幼稚園20名、南部こども園20名、ありおか分園10名を予定しています。

質問5 3歳児保育が無償化になるのであれば、3歳から預けようと思う人が増えると思う。そうすると、3歳児の予定している定員は少ないと思

うがどう考えているか。

回答 5 流れとしましては保育所ニーズが高まってきており、公立幼稚園 4 歳児、5 歳児の就園者数を見ても、年々少なくなってきました。3 歳児 250 名という定員が妥当であるかどうかにつきましては、今後のニーズ調査の結果等を見ながら検討していきます。

質問 6 閉園の日はまだ決まっていないのか。

回答 6 閉園であることは決まっているが、閉園日はまだ決まっています。早く決めてもらわないと園児募集の園選択ができないという意見や、まだ課題がある中で決めてもらうのは困るという意見もあり、そういった双方の意見を聞きながら、どのように決めるのかは検討しているところです。

質問 7 跡地の活用についてはどう考えているか。

回答 7 基本的には売却することを考えています。ただし、子どものための施設に利活用して欲しいであったり、安易に売却しないでほしいという声もいただいております。例えば今後、流入人口が増え、保育ニーズがさらに高まり、保育所が足りなくなったときには、民間保育所を誘致するということも考えられます。

質問 8 ニーズ調査の具体的な内容と、どうなったら 3 歳児の定員が増えるのかを教えてください。

回答 8 就学前児童等がいる世帯約 3,000～4,000 世帯を調査対象に、国から示されます調査項目と市独自の項目を追加し、ニーズを調査する予定です。3 歳児の定員の増加につきましては、まずはニーズ調査を実施し、動向を見ての検討となります。

質問 9 ニーズ調査は、就学前児童世帯すべてを対象に調査すべきではないか。

回答 9 今冬に実施予定のニーズ調査を一旦行い、その結果を検証し、必要であれば再度全市的に調査を行うことも考えられます。

質問 10 ニーズ調査の標本はどのように取るのか。

回答 10 調査項目の中に、住居地域を問う項目を入れることにより、地域ごとのニーズを把握することができると考えています。

質問 11 1 歳半健診や 3 歳健診があるので、その時に併せて調査をすればいい

のではないか。

回答 11 全市的にニーズ調査を実施することが、確実であろうかとは思いますが、回答される方にも、その時々のお気持ちがありますので、回答が公立幼稚園のニーズであっても、本当に公立幼稚園に申込まれるかどうかということもあります。そのため、ニーズ調査だけで判断するのではなく、地域ごとの基礎児童数の推移であったり、就園者数の状況を見ながら判断していく必要があると思います。

質問 12 私立幼稚園のニーズを考える際の指標として、認可定員ではなく利用定員を採用してほしい。

回答 12 利用定員が、実際の園児募集において用いられている定員ですので、利用定員を使用するものと考えています。

質問 13 仮に、公立幼稚園入園希望者が今後増加した場合、教室数が足りなくなる可能性はあるのか。

回答 13 現状、基礎児童数は減少傾向にあり、保育所ニーズが増加傾向にありますので、実際に教室数が足りなくなる可能性は低いと考えられます。ただし今後、様々な要因により教室数が不足するような状況になれば、検討していく必要があると考えます。